

大会の抱負を語る各チームの代表者

# 熱戦前に選手交流

みなかみ 雪合戦アジア杯開幕

第1回  
雪合戦 Asia Cup in みなかみ

Find your oasis.



取締役は「訪日外国人客の誘客増の鍵はウインタースポーツ。来年もみなかみで開きたい」といさつ。町観光協会の深津卓也代表理事は日本チームの1人として登壇し「いい思い出と優勝を手にできるよう頑張って」と激励した。

## 8カ国・地域から9チーム

雪合戦を通してアジア各地の代表が交流する「雪合戦 アジアカップ」（JT B、みなかみ町観光協会主催）が27日、同町藤原の水上高原ホテル200で始まつた。日本を含む8カ国・地域の9チームが参加し、トーナメント形式で王座を争う。28日まで。

この日はルールを理解するための練習試合と、各チ

ームの親交を深めるウエルカムパーティーが開かれた。約70人の選手は食事をしながら、28日の本番に向けて交流した。パーティーでは試合前の準備体操「みんなComing(みなかみ体操)」も練習し、会場は笑顔であふれた。

記者会見では各チームの代表が登壇し、意気込みを語った。JT Bの坪井泰博